

実践シティズンシップ教育

防災まちづくり・ くにづくり学習



編集：藤井聡

(京都大学大学院工学研究科教授、
内閣官房参与)

唐木清志

(筑波大学人間系准教授)

協力：公益社団法人 土木学会
教育企画・人材育成委員会
「土木と学校教育会議」検討小委員会

定価：本体1,600円＋税

目次



防災まちづくり・くにづくり学習の考え方

第1章 「防災まちづくり・くにづくり学習」の目標と方法

藤井聡(京都大学大学院工学研究科教授、内閣官房参与)

第2章 防災まちづくり・くにづくり学習の可能性

唐木清志(筑波大学人間系准教授)

第3章 安全な社会をつくるために防災教育に求められること

河田恵昭(関西大学社会安全研究センター長・教授)

第4章 学校防災と防災まちづくり・くにづくり学習

佐藤浩樹(前文部科学省スポーツ・青少年局安全教育調査官、
宮城県教育庁スポーツ健康課課長補佐)

第5章 防災教育に関する国土交通省の取り組み

塚原浩一(前国土交通省水管理・国土保全局防災課課長、
国土交通省水管理・国土保全局河川計画課課長)

第6章 東日本大震災の教訓から得た建設業界の社会的役割

深松努(株式会社深松組代表取締役社長)



防災まちづくり・くにづくり学習と学校

第1章 「生き抜く力」を育む津波防災教育の試み

片田敏孝(群馬大学大学院理工学府教授)

第2章 学校における地震防災対策

矢崎良明(板橋区教育委員会安全教育専門員、鎌倉女子大学講師)

第3章 生徒が主体的に活動する防災学習

齋藤和宏(女川町立女川中学校主幹教諭)

第4章 地域貢献型防災教育の取り組み

宮田龍(高知市立城西中学校校長)

第5章 小学校における「除雪」をテーマとした教育課程づくり

新保元康(札幌市立発寒西小学校校長)

私たちの暮らしの環境は
だれが守ってくれるのだろう。

自然災害は私たちから、家や暮らしや命を奪うことがある。東日本大震災以降、学校教育では多様な防災教育の取り組みが行われてきた。

だが、災害に直面したとき、必要となる行動は命を守るだけではない。復旧・復興のための活動、そして減災につながる日々の取り組みも重要となってくる。自分たちの暮らす「まち」や「くに」をつくり、守ることはだれかに任せておけばよいことではない。

次代の担い手である子どもたちが、まちやくにを災害から守り、それらの形成に参画し、判断する力を身に付けるため、土木と教育の協働による「防災まちづくり・くにづくり学習」の実践が始まりつつある――



防災まちづくり・くにづくり学習と授業

第1章 児童生徒による地域点検+手づくり防災地図の授業

寺本潔(玉川大学教育学部教育学科教授)

第2章 土砂災害避難を考える授業

谷口綾子(筑波大学大学院システム情報系准教授)

第3章 生活防災を題材とした社会的ジレンマ教材の開発とその評価

松村暢彦(愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻教授)

第4章 防災教育のあるべき姿と地震・津波防災DIG・土砂災害対策DIG

小村隆史(常葉大学社会環境学部社会・安全コース准教授)

第5章 震災遺構から学ぶ

岩坂尚史(お茶の水女子大学附属小学校教諭)

付録 学習ワークブック『「防災まちづくり・くにづくり」
を考える』の解説